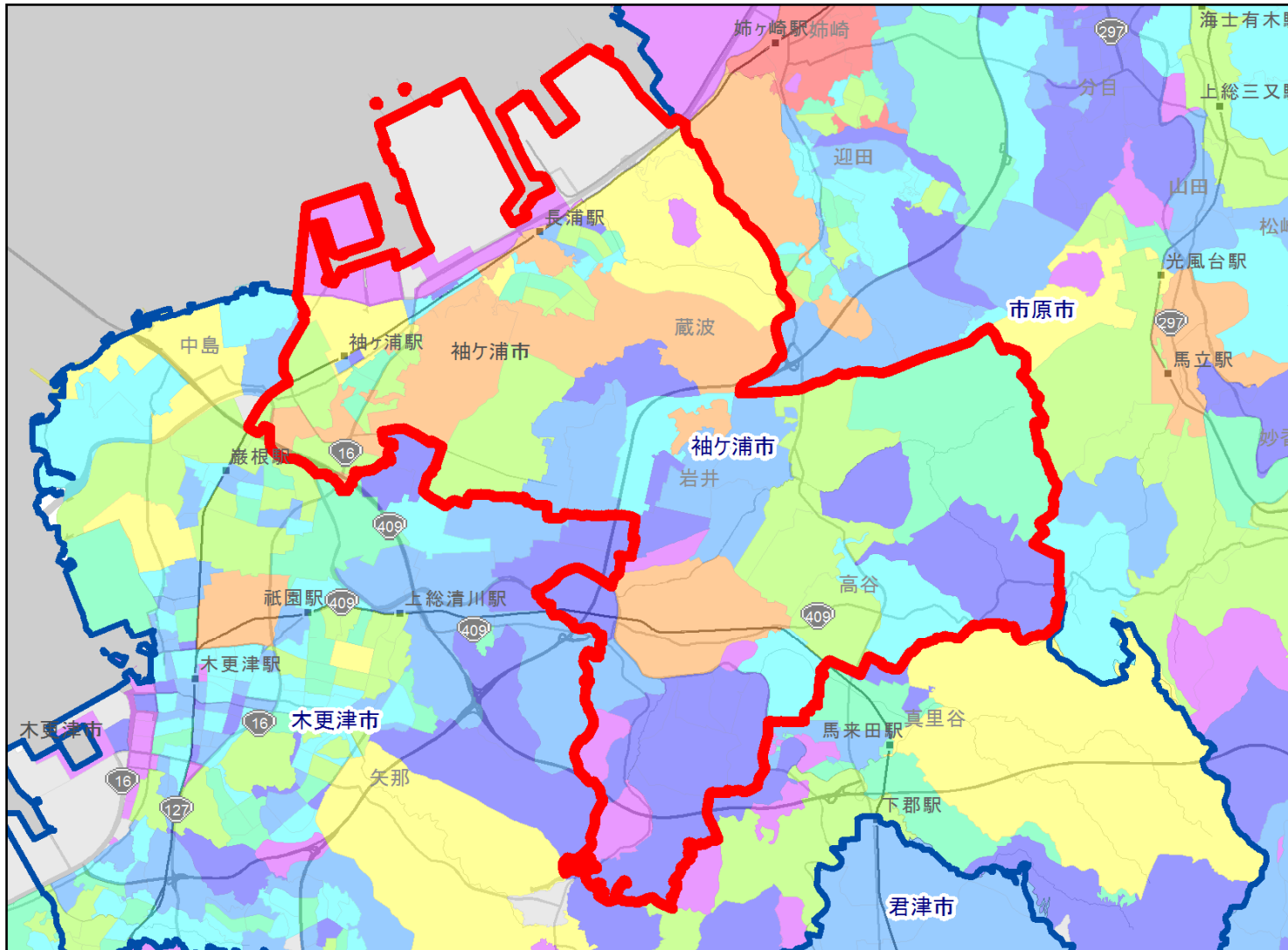
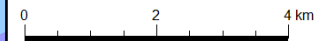


1. 商圈地図_袖ヶ浦市



- 凡例**
- ▭ 袖ヶ浦市
 - ▭ 市区町村界地図
 - H22国勢調査(町丁字等別集計)
 - 人口総数
 - 0
 - 1 - 99
 - 100 - 249
 - 250 - 499
 - 500 - 749
 - 750 - 999
 - 1,000 - 1,999
 - 2,000 - 2,999
 - 3,000 - 4,999
 - 5,000 - 99,999



1. 商圏特性データ

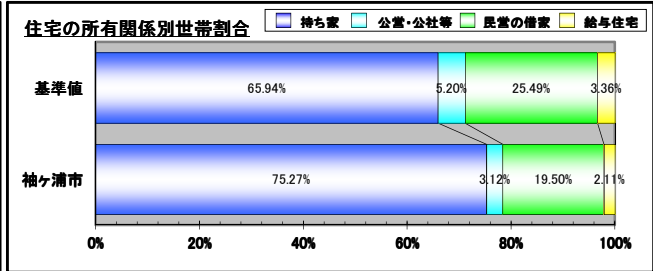
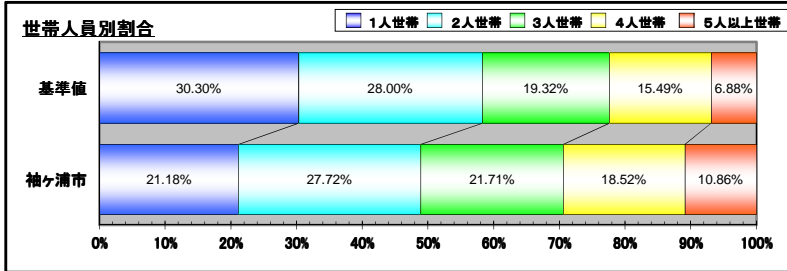
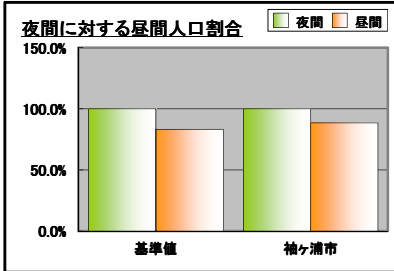
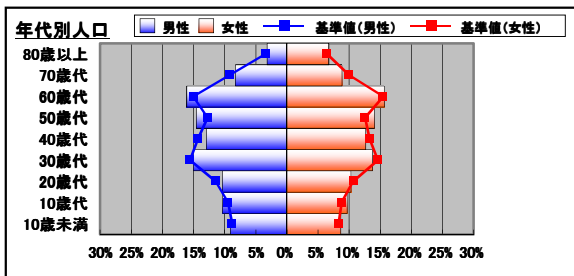
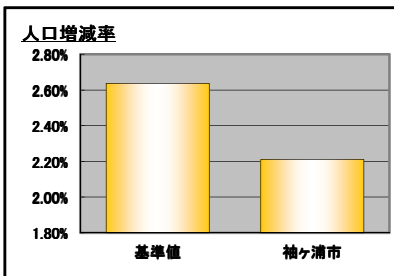
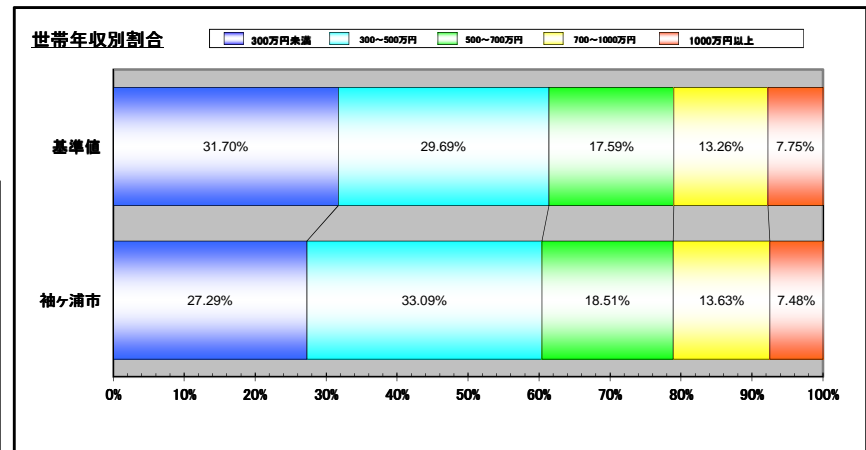
商圏	人口総数			年代別人口								人口増減数 (H17-H22)	昼間人口	
	総数	男	女	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代			80歳以上
基準値 (千葉県)	6,216,289	3,098,139	3,118,150	523,603 (8.54%)	559,451 (9.13%)	677,057 (11.05%)	923,992 (15.08%)	843,724 (13.77%)	775,561 (12.65%)	934,677 (15.25%)	587,935 (9.59%)	302,826 (4.94%)	159,827 (2.64%)	5,174,525 (83.24%)
1次商圏 袖ヶ浦市	60,882	30,666	30,216	5,399 (8.88%)	6,081 (10.00%)	6,266 (10.31%)	8,731 (14.36%)	7,762 (12.77%)	8,700 (14.31%)	9,652 (15.88%)	5,193 (8.54%)	3,007 (4.95%)	1,317 (2.21%)	53,934 (88.59%)

商圏	世帯数						住宅の所有関係別世帯数				住宅の建て方別世帯数		
	総数	1人世帯	2人世帯	3人世帯	4人世帯	5人以上	持ち家世帯	公営・公社等	民営の借家	給与住宅	一戸建て	長屋建て	共同住宅
基準値 (千葉県)	2,512,441	761,231 (30.30%)	703,490 (28.00%)	485,529 (19.32%)	389,270 (15.49%)	172,921 (6.88%)	1,607,089 (65.94%)	126,793 (5.20%)	621,204 (25.49%)	81,991 (3.36%)	1,323,002 (54.36%)	39,835 (1.64%)	1,070,984 (44.00%)
1次商圏 袖ヶ浦市	21,485	4,551 (21.18%)	5,955 (27.72%)	4,665 (21.71%)	3,980 (18.52%)	2,334 (10.86%)	15,632 (75.27%)	649 (3.12%)	4,050 (19.50%)	438 (2.11%)	16,192 (77.20%)	298 (1.42%)	4,483 (21.38%)

商圏	世帯年収					
	総数	300万円未満	300~500万円	500~700万円	700~1000万円	1000万円以上
基準値 (千葉県)	2,512,441	796,504 (31.70%)	745,936 (29.69%)	441,963 (17.59%)	333,215 (13.26%)	194,824 (7.75%)
袖ヶ浦市	21,365 ※	5,829 (27.29%)	7,071 (33.09%)	3,954 (18.51%)	2,913 (13.63%)	1,598 (7.48%)

※年収はH25年取別推計世帯数より算出。

★各割合の赤字は基準値を上回っている、青字は下回っている事を示します。



2. ポイントまとめ 袖ヶ浦市

1、全体特性を一言で表すと……

多くの子供を大家族で見守る世帯が多いエリア

2、データ分析

1)年代

10歳未満、10歳代、50歳代、60歳代、80歳以上が基準値より多い。20歳代、30歳代、40歳代、70歳代は基準値以下。
→一世帯あたりの子供の人数が多い。

2)昼間人口

基準値より5.35%も低い。
→袖ヶ浦市エリアに通勤・通学している方がやや多い。

3)持ち家？賃貸？

持ち家世帯が基準値より9.33%高い。
→持ち家世帯が多い。

4)住宅の建て方

一戸建て世帯が基準値より22.84%高い。
→一戸建て世帯が非常に多い。

5)世帯年収

世帯年収300～500万円、500～700万円、700～1,000万円が基準値より多い。300万円未満、1,000万円以上は基準値以下。
→中間所得層が多い。

3、まとめ

子育て親世代の30、40歳代が少ないにも関わらず、10代以下がそれぞれ多いです。また、3人以上の世帯が多く、特に5人以上は3.98%も高いエリアです。大人数のご家庭が多いので、ファミリー向けのセットサービスや、大人数でのお得なプランの告知に向いている可能性があります。

※人口統計データからの分析結果です。実際の地域性や文化面は分析に含まれておりませんので、ぜひ営業担当にご相談下さい。

株式会社地域新聞社マーケティング部